

## 請第1号

### 井尻川の浸水被害再発防止に関する請願

- 1 請願年月日 令和7年12月23日
- 2 紹介議員 一瀬 重隆  
緒方 亜利沙
- 3 請願者
- 4 請願の要旨 

令和7年8月10日の豪雨により、玉名市下高城地区を流れる井尻川において、床上浸水などの深刻な被害が発生しました。(私の実家は、床上及び床下浸水の被害を受け、市による現地調査の結果、「半壊」との認定を受けました。)

この被害の原因を知るべく現地確認及び再測量を行なったところ、主な原因は、橋台を有する桁橋の橋梁部において河道断面が制約され、当該橋梁部が流下能力上のボトルネックとなっていることであると考えられます。現状では、橋梁部直下及びその前後区間で必要な河道断面が確保されておらず、土砂堆積や圃場取水のための土のう締切りによって、さらに流下能力が低下しています。

こうした浸水被害の再発を防ぐため、右岸側にL型水路を設置し、底板コンクリートを組み合わせることで、橋梁部を含む区間において必要な流下断面を確保する恒久的な対策を提案します。

このような状況を踏まえ、井尻川の浸水被害再発防止に関し、下記のとおり市による正式な検討を強く請願いたします。

#### 記

- 1 橋台及び擁壁の根入れ調査（試掘）を実施すること。

- 2 必要断面4.4～5.3 m<sup>2</sup>を確保できる河川改修を行なうこと。
- 3 橋梁部のボトルネック解消を目的として、右岸側L型擁壁＋底板案を正式検討案に加えること。
- 4 土のう締切りを回避する運用ルールを検討すること。
- 5 上流区間を含めた定期しゅんせつ（出水期前）を維持管理項目として位置づけること。